



環境に配慮した新造船の建造について ～港湾の脱炭素化に向けた取組～

本組合は、カーボンニュートラルポート（CNP）の形成を推進しており、その取組の一つとして、「環境に配慮した推進機関を持つ船舶の導入」を位置付けています。

この度、老朽化している小型連絡船「あしづき」（建造から39年）に代わる新造船の建造契約を令和7年12月に締結しましたので、お知らせします。

なお、この新造船は脱炭素化を図るため、100%バイオディーゼル燃料が使用可能な推進機関（エンジン）としています。

＜新造船の要目等＞

全長：約14.0m

幅：約4.5m

総トン数：約13トン

速力：約18ノット

定員数：12名



【新造船（イメージ）】

【お問合せ先】

新造船に関すること

港営部海務課

担当：水本、家田

TEL：052-654-7880

【お問合せ先】

CNP形成に関すること

政策企画部次世代エネルギー推進担当

担当：戸谷、水野

TEL：052-654-7958